

四島交流受入

四島交流受入

北方四島交流事業は、北方領土問題の解決までの間、相互理解の増進を図り、領土問題の解決に寄与することを目的として、日本国民と北方領土に居住するロシア人との間の旅券(パスポート)・査証(ビザ)なしによる相互訪問事業です。

1991年(平成3年)4月のゴルバチョフ・ソ連大統領来日の際、ソ連側からの提案を受け、両国間での協議の結果、同年10月の日ソ外相間の往復書簡により、四島との交流の枠組みが作られました。旅券の携行や査証の取得なしで、外務大臣の発行する身分証明書などによる渡航が認められていることから、『ビザなし交流』と呼ばれています。『北方四島交流受入事業』は、四島在住ロシア人を受け入れる事業です。

令和元年度における四島交流受入実施状況

区分	実施月日	訪問先	団員数
第1回(ファミリー)	6月14日～6月18日	根室管内1市4町	68名
第2回(青少年)	7月11日～7月15日	札幌市、根室市	60名
第3回(日本語習得)	7月16日～8月15日	札幌市、根室市	19名
第4回(一般)	9月26日～9月30日	苫小牧市	44名
		計	191名

※北方四島交流北海道推進委員会主催分

第1回(ファミリー)



別海町でのせんべい焼き体験の様子です。自分たちで実際にせんべいを焼いた後、おいしくいただきました。



中標津町での日本文化体験の様子です。習字を体験し、自分たちの名前を一生懸命書きました。



標津町での住民との交流会の様子です。竹馬や竹とんぼなど日本に伝わる伝統的な遊びを体験しました。



羅臼町でのそば打ち体験の様子です。職人さんに教えてもらいながら一生懸命作りしました。できあがったそばは皆さんでいただきました。

第2回（青少年）



北海道博物館の見学の様子です。北方四島の先史文化とも関わりのある北海道の歴史や自然について学習しました。



札幌市内で地元の大学生と一緒に市内を散策し、一緒に夕食や買い物を楽しみました。



石狩市にある最新の石狩湾新港発電所を見学した様子です。最新の火力発電所について説明を受けました。



石狩市で地元ソフトボールクラブの中高生とゲームをして交流しました。地元の高校生と一緒に夕食をとり、楽しい時間を過ごしました。



根室市での夕食交流会の様子です。地元の高校生と一緒に夕食をとり、楽しい時間を過ごしました。



北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）でのまとめの研修会の様子です。滞在中に印象深かったことや思い出に残ったことを発表し合いました。

第3回（日本語習得）



札幌での日本語研修開講式の様子です。この日から訪問団員は約1カ月間、平日は宿泊施設から研修会場まで通学して日本語を勉強し、週末は様々な日本文化に関する体験をしました。



札幌市内で浴衣の着付け体験の様子です。



根室市に戻った訪問団員は、アイロンで風呂敷にプリントを施すアートプリントを体験しました。気に入ったデザインを綺麗にプリントできました。



北方四島交流スピーチコンテストの様子です。研修の終盤にスピーチコンテストが行われ、日本語を学ぶロシア人が日本語で、ロシア語を学ぶ日本人がロシア語でスピーチを披露し、お互いの学習の成果を確認し合いました。



第4回（一般）



苦小牧市のトヨタ自動車工場を訪問し、最新の自動車技術などについて説明を受けました。



苦小牧市のリサイクルプラザで、紙すき体験をし、リサイクル紙を制作しました。



住民交流会では、「ゴミ問題」をテーマに意見交換を行いました。



苦小牧市内にあるロシアの宇宙ステーション「ミール」の展示館を訪問しました。



苦小牧市での住民交流会の様子です。参加者全員で日本舞踊に挑戦し、住民との交流を深めました。



根室港出港の様子です。船が見えなくなるまで手を振り、別れを惜しみました。